



昨年11月3日に太田国土交通大臣と共に常願寺川中流にある本宮砂防堰堤<sup>ほんぐう</sup>やヘリコプターで上空から立山カルデラに堆積した土砂を食い止める砂防施設群を視察されましたが、この度、自ら現場におもむき、大規模な崩壊が続く立山カルデラや砂防工事の状況を視察するため立山砂防に駆けつけられました。

【立山カルデラ砂防博物館】

立山カルデラの自然と歴史、砂防を紹介した博物館を視察



【砂防専用軌道にて中流域視察】

立山砂防工事専用軌道にて常願寺川中流域を視察



左から、入江河川部長、酒谷分析官、野上副大臣、森北水国局長、長井事務所長

昨年11月の視察状況



ほんぐう  
本宮砂防堰堤にて



立山砂防女性サロンの会会員と

【職員訓辞】



【水谷出張所職員及び施工業者激励】



野上副大臣のコメント：  
厳しい環境のもと皆さんのおかげで流域の生活が護られている。





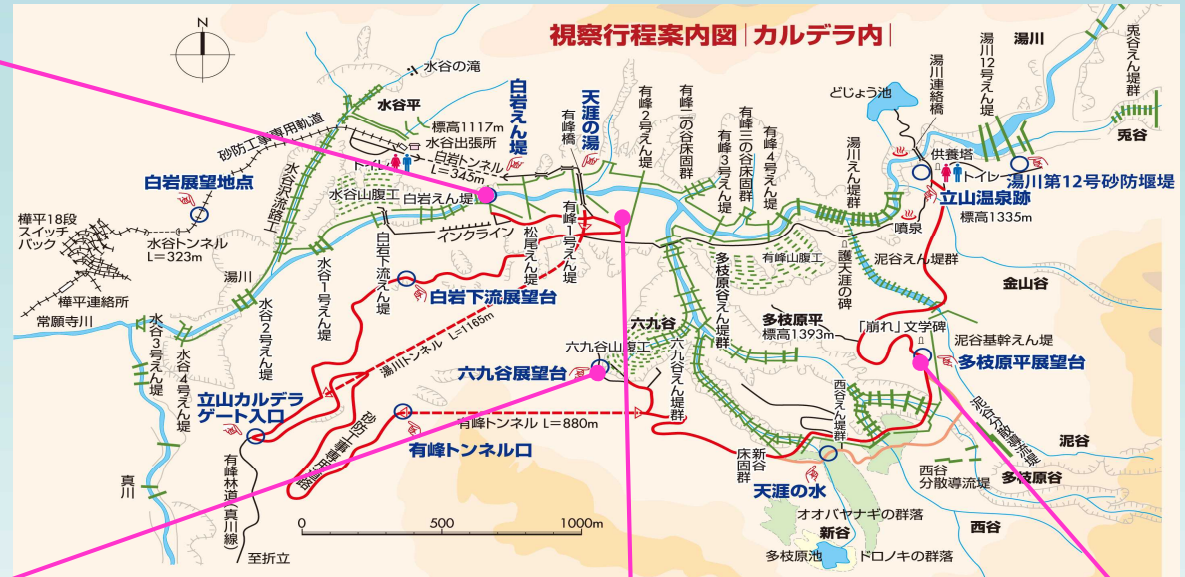
## 【白岩砂防堰堤】

常願寺川砂防計画の基幹である白岩砂防堰堤を視察



## 【六九谷展望台】

昭和44年に被災した六九谷の植生回復状況、カルデラ内崩壊土砂の堆積状況を視察



## 【有峰二の谷】

施工中の有峰地区溪岸対策工事を視察



## 【多枝原平展望台】

多枝原平文学碑、整備が進んだ多枝原谷の状況を視察

